畜産あきた

第36号
2017
4月

平成28年度　臨時総会開催

平成29年3月28日（火）午前11時より秋田県畜産会館1階会議室にて、当組合「平成28年度臨時総会」が開催されました。

当日は、組合員133名（本人出席18名、代理人出席5名、書面議決書110名）が出席し、議長には中央地区の伊藤錚悦さんが選任され、議案第1号　「平成29年度事業計画の設定について」、議案第2号　「平成29年度理事及び監事の報酬決定について」、議案第3号　「平成29年度賦課金の額・賦課方法・徴収時期及び徴収方法について」、及び付帯決議の全4議案を、全て原案どおり可決承認し、新しい年度のスタートを切りました。

29年度については、農政改革及び米国、EUとの新たな貿易交渉が進むことから、予断を許さない経営環境となり、畜産経営者にとって引き続き厳しい年になることが予想されますが、組合員の皆様方の要望に応じた事業の推進を行い、畜産経営の安定維持発展に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

●平成29年4月28日発行　第36号　【発行】秋田県畜産農業協同組合　【編集】総務部

平成28年度　臨時総会議決事項

議案第１号　平成29年度事業計画の設定について
議案第２号　平成29年度理事及び監事の報酬決定について
議案第３号　平成29年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
付帯決議
以上、全議案、原案どおり可決承認されました。

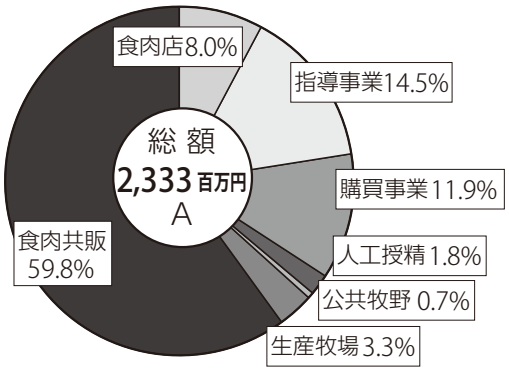
平成29年度　事業計画の概要

【 重要取組事項 】

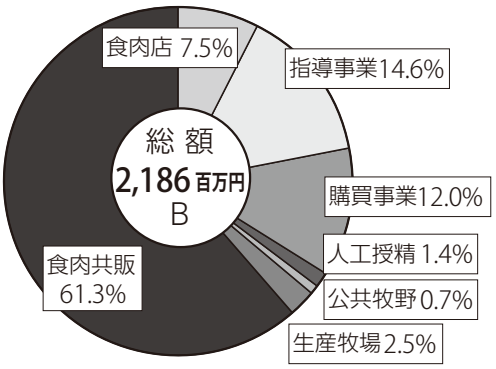
1）　生産部会等組織活動の活性化促進による生産指導力の強化
2）　未来の農業経営基盤確立のための担い手ネットワークの運営発展
3）　肉用牛改良増殖目標の設定と普及啓蒙
4）　生産・改良指導の強化による市場性の向上対策の強化
5）「秋田錦牛」・「かづの牛」の銘柄力の拡大の推進
6）　游休資産の活用促進及び外部出質の適正化による経営基盤強化
7）　組合業務の効率化による経営コストの削減
8）　事業量拡大と収益性向上による組合経営の安定化

【事業収支計画の概要】

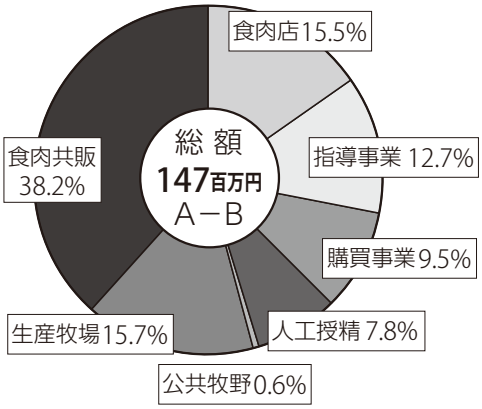
〈 事 業 収 益 〉



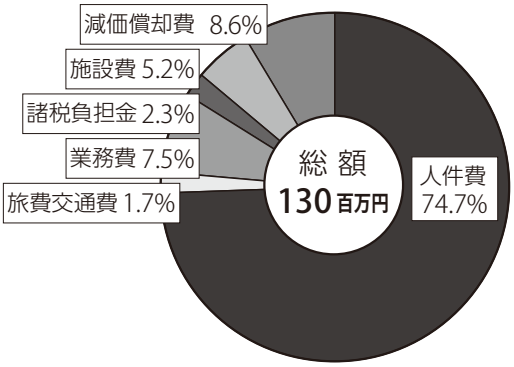
〈 事 業 費 用 〉



〈 総事業利益の内訳 〉



〈 事業管理費の内訳 〉



食肉事業所より

第32回秋田県畜産農協枝肉研究会開催
最優秀賞は秋田市　高橋長寿さん

2月6日から2月9日にかけて、秋田県食肉流通公社において「第32回秋田県畜産農協枝肉研究会」が開催されました。今回の出品牛は全頭黒毛和種で、去勢25頭、雌11頭の合計36頭が出品されました。審査委員の厳正な審査の結果、見事最優秀賞に輝いたのは秋田市　高橋長寿さんの出品牛「徳福」号でした。血統は父が徳悠翔、二代祖が北乃大福でその父が平茂勝。枝肉重量619.5kg、ロース芯面積85、バラの厚さ10.7cm、格付等級「A-5」、BMS「12」でした。肥育が良く進み、肉質全般に優れておりました。枝肉単価は3,200円、枝肉販売金額は198万2,400円でした。

また、研究会全体の成績は平均枝肉単価が2,441円、平均売上金額が129万9,347円と、高値での取引となりました。

最優秀賞を受賞した高橋さんにお話を伺いました。

徳悠翔は、あまり相性が良くないのですが、この牛は今年度9月に宮城県で行われる、全国和牛能力共進会に出品される予定の牛の隣のマスで肥育管理しておりましたので、敷料等きちんと変えて大切にあつかっていました。おかげで好成績をおさめることができました。

最優秀賞を受賞した高橋さんからのお話でした。おめでとうございます。

〈全体の成績〉

性別	頭数	平均枝重(kg)	平均販売単価(円)
去勢	25	562.4	2,520
雌	11	463.7	2,225
小計	36	532.3	2,441

〈最優秀賞受賞枝肉〉

〈受賞牛の成績〉

賞	受賞者	格　付	性別	枝重(kg)	単価(円)	売上(円)	父	母の父	祖母の父
最優秀賞	高橋長寿	A5 BMS12	去勢	619.5	3,200	1,982,400	徳悠翔	北乃大福	平茂勝
優秀賞	伊藤重男	A5 BMS12	去勢	589.0	3,000	1,767,000	安福久	勝忠平	第1花国
優秀賞	伊藤組男	A5 BMS11	去勢	607.5	2,900	1,761,750	義平福	平茂勝	神高福
優秀賞	熊谷典夫	A5 BMS12	去勢	553.5	3,000	1,660,500	花之国	百合茂	安福165の9

山本郡藤里町

組合員紹介

市川（いちかわ）　広栄（ひろえい）さん（78歳）

●従事者
本人、 娘さん

●飼養品種、頭数
黒毛和種　（繁殖11頭、子牛5頭）

市川さんは、父の時代より日本短角種の繁殖牛５～６頭と農耕馬を２頭飼育していました。後を継いでからは、褐毛和種に切り替え 10 頭位の繁殖を行って来ましたが、ＢＳＥが発生してからは黒毛和種に切り替え、現在に至っています。自宅から牛舎までが車で 15 分ぐらいかかりますが、毎日通っています。また、近くに嫁いだ娘さんが、忙しい時など手伝いに来てくれます。

● 飼養管理ポイント

春から秋までは町営の牧野に放牧し、分娩時は、牛舎に戻しています。また、分娩時は必ず、立ち会うようにしていて、牛舎に泊まることもあるということです。

粗飼料は、減反に植えた牧草を乾燥させ自家産の良質な物を与えています。

● 今後の目標

「牛が好きなので体が動くうちは続けたい。また、良い繁殖牛を導入し、一層良い子牛を生産していけるように頑張って行きたい。」ということでした。

● 最後に

お忙しい中、取材に応じて下さった市川さんに感謝申し上げるとともに、今後のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

畜産トピックス

平成 28 年の牛枝肉共励会についてご紹介します。東京食肉市場株式会社の共励会・研究会等が主ですから、東日本中心の情報です。

この期間には、271 回の共励会・研究会等が開催され、そのデータを収集しました。入賞牛は、和牛去勢 1,228 頭、和牛雌 392 頭、交雑種雄牛 132 頭、合計 1,752 頭でした。

平成 28 年の牛枝肉共励会等の結果について

⑴ 品種別の枝肉成績

出品区分別の枝肉成績を表 1 に示しました。

和牛去勢は、枝肉重量が 557.5kg、ロース芯面積が 80.2 ㎠、バラの厚さが 9.1 ㎝、BMS№が 10.6 でした。昨年の結果（表 2）よりも、枝肉重量で 4.1kg、ロース芯面積で 5.7 ㎠、バラの厚さで 0.3 ㎝、BMS№で 0.2 も上回っています。枝肉成績を大きくしたいという生産者の姿勢が反映しています。表 3 の平成 27 年の日格協の枝肉共励会の成績と比較すると、枝肉重量が 72.5kg、ロース芯面積が 21 ㎠、バラの厚さが 1.2 ㎝、BMS№が 3.9 も上回っています。

和牛雌は、枝肉重量が 460kg、ロース芯面積が 72.5 ㎠、バラの厚さが 8.5 ㎝、BMS№が 10.4 でした。昨年の結果（表 2）よりも、枝肉重量で 10.6kg、ロース芯面積で 1.2 ㎠、バラの厚さで 0.4 ㎝、BMS№で 0.3 も上回っています。

交雑種（雌雄混合）は、枝肉重量が 583.9kg、ロース芯面積が 64.1 ㎠、バラの厚さが 8.5 ㎝、BMS№が 6.5 でした。27 年とほぼ同様の成績でしたが、枝肉重量だけ 6.1kg も増加しています。

⑵ 和牛去勢の入賞牛の枝肉成績

表 1　平成28年の牛枝肉共励会等の入賞牛の枝肉成績

出品区分	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	BMS№	単価	販売金額
和牛去勢	1,228	557.5	80.2	9.1	10.6	2,958	1,645,127
和牛雌	392	460	72.5	8.5	10.4	3,081	1,414,753
交雑種混合	132	583.9	64.1	8.5	6.3	1,855	1,083,272

表 2　平成 27 年の牛枝肉共励会等の入賞牛の枝肉成績

出品区分	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	BMS№	単価	販売金額
和牛去勢	1,162	553.4	74.5	8.8	10.4	2,545	1,406,763
和牛雌	326	449.4	68.3	8.1	10.1	2,656	1,190,535
交雑種混合	90	579.5	61.3	8.5	6.5	1,703	979,058

表 3　平成 27 年の（公社）日本食肉格付協会のデータ

出品区分	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	BMS№	上物率※
和牛去勢	240,258	485.0	59.2	7.9	6.7	32.9
交雑種去勢	116,210	509.9	51.0	7.3	3.5	48.4

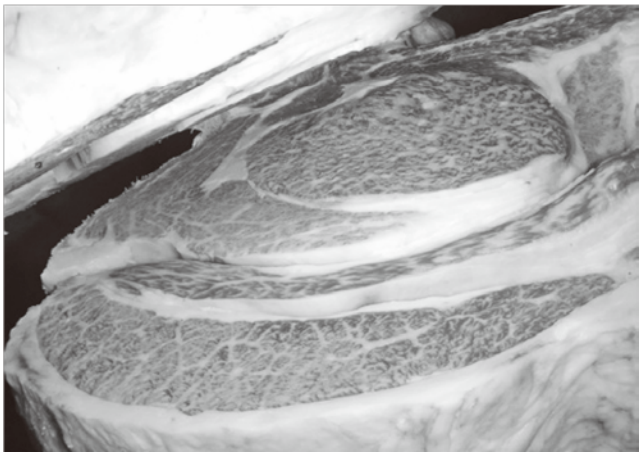
※和牛 5 等級以上、交雑種 3 等級以上（%）

表 4 に示すように、和牛去勢で、入賞牛の頭数が最も多かったのは、百合茂です。「百合茂 × 安福久」の組み合わせが多く出品されたことを反映しています（174 頭中 143 頭、表 4 、5 参照）。次いで、安福久が多く、芳之国、美津百合、隆之国、茂洋、美津照重、光平照、美国桜が続いてます。茂洋、菊福秀、北乃大福、第 1 花国は、昨年に比べ入賞頭数が減少しました。入賞する種雄牛が替わりつつあることを示しています。

表 4　和牛去勢（平成 28 年の牛枝肉共励会等の入賞牛一覧）

種雄牛	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	BMS№	単価	販売金額
百合茂	174	588.1	89.5	9.4	11.2	3,069	1,803,129
安福久	107	528.2	75.4	8.6	10.3	2,774	1,465,613
芳之国	72	567.0	77.8	9.2	10.7	2,825	1,601,728
美津百合	71	543.0	80.5	8.8	10.6	3,179	1,691,966
隆之国	71	548.7	80.2	9.4	10.8	2,978	1,636,112
茂洋	65	580.4	80.5	9.0	10.6	2,965	1,731,579
美津照重	64	546.7	78.0	8.9	10.6	2,809	1,533,876
光平照	61	527.3	75.5	8.7	10.5	2,930	1,545,259
美国桜	56	548.3	83.6	9.3	10.7	2,948	1,618,536
菊福秀	42	549.9	78.2	9.3	10.5	2,868	1,578,700
北乃大福	35	538.1	75.1	9.2	10.0	2,792	1,503,717
第1花国	26	579.2	82.9	9.1	11.2	2,841	1,648,485
勝忠平	25	590.1	86.4	9.8	10.5	2,932	1,667,431
徳悠翔	18	544.2	79.3	9.2	10.1	2,783	1,514,587
花国安福	17	577.0	71.8	8.8	10.1	2,687	1,545,021
福安照	15	549.2	77.5	9.2	9.8	2,823	1,542,994
福華1	15	581.1	81.1	9.0	10.7	2,828	1,640,130
平茂晴	15	581.3	78.1	9.5	10.9	2,996	1,738,289
安茂勝	13	558.8	78.2	9.1	10.1	2,770	1,551,680
花之国	11	546.1	80.6	8.9	10.5	3,010	1,651,336
秀菊安	11	526.5	80.8	8.7	11.8	4,780	2,519,458
北平安	11	536.8	71.5	8.8	9.8	2,855	1,536,558
義平福	10	568.4	82.9	8.7	10.3	2,797	1,589,096
第1花国	10	571.5	82.5	9.2	10.5	2,845	1,627,780
総計	1,228	557.5	80.2	9.1	10.6	2,958	1,645,127

表５は、和牛去勢で母の父が安福久の場合の入賞頭数です。416 頭数で、1,228 頭中 34%を占めました。



「宮城県の川村和弘さん」　平成 28 年 10 月 28 日
平成 28 年全国肉用牛枝肉共励会　名誉賞
去勢、枝肉重量 641kg、BMSNo.12、茂洋 × 安福久 × 平茂勝

特に、百合茂との組み合わせが 143 頭でトップでした。

また、和牛去勢で母の父が安福久の例が目立ちましたが、曾祖父では平茂勝が 1228 頭中 305 頭（25%）も占めていました。

⑶ 和牛雌の入賞牛の枝肉成績

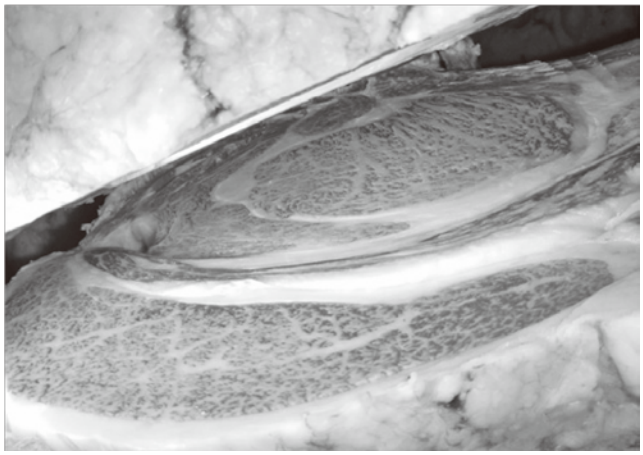
表５　和牛去勢で母の父が安福久であった種雄牛の入賞牛一覧

種雄牛	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	BMS No.	単価	販売金額
百合茂	143	587.0	91.4	9.4	11.3	3,137	1,840,167
隆之国	35	551.2	86.3	9.6	11.2	3,108	1,717,894
美津百合	30	532.2	85.0	8.8	11.1	3,769	1,936,929
美国桜	27	539.6	86.3	9.1	11.0	3,067	1,663,082
芳之国	23	548.9	87.7	9.5	11.4	3,041	1,668,301
勝忠平	18	580.1	92.4	9.9	11.1	3,044	1,679,878
第1花国	16	581.8	87.2	9.2	11.4	2,920	1,702,847
菊福秀	15	557.1	85.9	9.4	11.4	3,052	1,701,610
茂洋	10	589.3	87.2	9.2	11.4	4,063	2,458,653
美津照重	7	549.7	96.1	9.2	11.4	2,940	1,619,546
総計	416	567.6	89.3	9.4	11.3	3,184	1,795,180

和牛雌の成績は、表６に示しました。雌では、ここ数年、安福久が上位を占めています。次に、光平照、美国桜、芳之国、菊福秀の順に多く入賞しました。美津百合や美津照重も増えています。雌の場合、増体系よりも資質系が強い血統の入賞牛が多い傾向になりました。また、美津照重は、雌の BMSNo.が去勢よりも高いのが印象的でした。優良な繁殖牛候補として注目されます。

表６　和牛雌（平成 28 年の牛枝肉共励会等の入賞牛一覧）

種雄牛	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	BMS No.	単価	販売金額
安福久	53	473.2	78.7	8.4	10.8	3,091	1,463,247
光平照	40	444.4	71.1	8.2	10.6	3,057	1,356,940
美国桜	38	476.8	81.8	9.0	10.5	3,565	1,683,195
芳之国	24	463.5	67.3	8.3	10.3	2,868	1,325,629
菊福秀	22	440.8	66.8	8.3	10.0	2,911	1,280,897
茂洋	22	469.5	75.0	8.2	10.5	2,885	1,351,923
美津百合	21	455.9	66.3	8.3	10.0	2,927	1,327,673
北乃大福	21	448.3	69.0	8.7	9.8	2,928	1,308,139
美津照重	16	457.4	75.7	8.7	11.1	3,063	1,402,487
百合茂	15	468.5	73.3	8.5	10.7	3,050	1,430,962
秀菊安	11	464.2	75.9	9.0	11.2	4,166	1,935,875
義平福	10	461.3	70.6	8.4	9.3	2,937	1,352,973
総計	392	460.0	72.5	8.5	10.4	3,081	1,414,753



「青森県の金子ファームさん」　平成 28 年 10 月 28 日
平成 28 年全国肉用牛枝肉共励会　牝の部　最優秀賞
牝、枝肉重量 524kg、BMSNo.12、美国桜 × 安福久 × 百合茂

引用元：LIAJNews163 寺さんの俵牛情報より

支所だより

◇畜産講習会開催される

去る、2月19日鹿角地域交流センターにて畜産講習会が開催されました。

講師にあきた総合家畜市場(株)事務局長(兼)総務課長斉藤稔様より「和牛を見つめて40年：何思う!!」と題し講演をいただきました。

講演では、長年由利地域の和牛改良に携わった経験とノーハウを基に、市場購買者が求める素牛についてや、これからのＤＮＡ解析による改良方向も紹介し、解りやすくご講演いただきました。

◇かづの牛肉の低需要部位と内臓を使用した加工品開発

当組合では、(一社)全国肉用牛振興基金協会の国産食肉等新需要創出緊急対策事業を活用し、かづの牛の利用価値の低い部位と内臓を使用した加工品を、昨年10月にオープンしたかづの牛工房の加工施設の設備で、日本食研ＨＤ(株)のご協力により、肩バラ肉を使用「カルビ焼肉丼の具」「ビーフペッパーライス」、小間切肉を使用「牛肉の味噌煮」、スネ肉を使用「牛スジ肉と大根煮」、挽き肉を使用「メンチカツ」、内臓(肺)を使用「ふわっと煮」の商品を開発いたしました。利用価値の低い牛肉を、加工により付加価値の高い商品にする事ができました。現在、７月の御中元セールに向けて商品の販売準備を進めております。

◇行事予定

5月上～中旬　　鹿角市公共牧野入牧

あきた総合家畜市場

平成29年　4月期子牛セリ市結果【黒毛和種】

市場名	性別	今回（29年４月）		前回（29年３月）			前年同期（28年４月）		
		頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
あきた総合	メス	159	767,622	152	739,757	27,865	138	686,958	80,664
	去勢	211	879,739	182	929,981	△50,242	213	805,584	74,155
	計	370	831,559	334	843,412	△11,853	351	758,945	72,614

（税込み）

【平成29年 4月期子牛】

去勢高価格順

	種雄牛	２代祖	３代祖	DG	取引価格
1	福華1	安福久	百合茂	1.34	1,266,000
2	幸紀雄	安福久	平茂勝	1.28	1,254,000
3	百合茂	安福久	平茂勝	1.23	1,158,000
4	幸紀雄	安福久	平茂勝	1.28	1,027,000
5	隆之国	安福久	平茂勝	1.28	1,014,000

（税別）

雌高価格順

	種雄牛	２代祖	３代祖	DG	取引価格
1	安福久	義平福	糸福（鹿）	1.14	996,000
2	隆之国	勝忠平	安福165の9	1.05	866,000
3	義平福	百合茂	安福165の9	1.25	845,000
4	美国桜	百合茂	安福165の9	1.07	841,000
5	幸紀雄	美国桜	勝忠平	1.10	837,000

（税別）

行事予定

4月
- 19日　牛組合長会議
- 19日　鹿角市公共牧野利用者会議
- 28日　公認会計士監査

5月
- 上旬　鹿角市公共牧野入牧
- 11日　第33回秋田県畜産組合枝肉研究会
- 12日　第１回監事会

6月
- 12日　第１回理事会
- 15日　第11回大仙、仙北、美郷畜産共進会
- 30日　第10回通常総会

※畜産あきたは、年４回（１・４・７・１０月）の発行を予定しております。